

香取市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（第2回 小見川区） 意見概要	
日 時	平成 21 年 7 月 25 日（土） 19 時 00 分～21 時 00 分
場 所	小見川社会福祉センター（さくら館）
参加人数	21 名
	◆都市計画マスタープラン 将来のまちの姿等に関する質疑応答
市民	<ul style="list-style-type: none"> この計画は、国土計画の計画ではないということでしょうか。 香取市の 20 年後の世帯数、人口をどう考えるのでしょうか。 道路について、既存の道路の拡幅、改良を含むものなのか。その中で道路の排水をどう考えているのか。 香取市の産業をどう考えて、小見川工業団地を産業拠点としているのか。例えば、農業関係の産業集積をやるのが、香取市の場合、最も効果があるのではないかと考えます。現状では民間が農業関係の産業を集積した形態を実施しているが、そのような機能が工業団地にあれば良いと思う。そのようなものが小見川工業団地の中につくれないのかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> この計画は都市計画マスタープランであり、国土利用計画法に基づく土地利用ではなく、都市計画法に基づくものです。 将来の世帯数、人口ですが、世帯数については住まい方により変わってくることもあり、推計は難しいものがあります。人口については、国の関係機関がおこなった推計、これは過去の人口動向をもとにコーホート法という方法で推計する方法ですが、20 年後には約 68,000 人という結果が出ています。 道路ですが、全体構想案では香取市の骨格となる道路を示しています。これは香取市の道路網のあり方について検討した「香取市幹線道路網整備計画」という平成 19 年度に策定した計画を基にしています。既存の主要な道路に交流促進連絡道路、香取市横断道路の新規路線を加えた道路となっています。また、道路の排水についてですが、側溝に関することですか。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 現状の道路の側溝ですが、ある程度決まった形で整備されていますが、出水は地域によって異なっており、それを踏まえて考えていくことが必要ではないかということでお聞きした。治山治水を基本に考えていくことが必要という思いを持っており、お聞きした。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの基本はまちづくりの方針であり、道路の排水も含め、治山治水については安全性を高めていく方針を示しています。 産業ですが、香取市は農業都市で、主要産業は農業と位置づけています。最近では、小見川の大規模工場の撤退等もそうですが、日本の輸出系、工業系の産業を取り巻く環境は厳しくなっており、反面、農業等については追い風が吹くのではと期待しています。小見川工業団地ですが、香

	<p>取市の中である程度の産業が集積しているのはこの工業団地だけで、また重要な雇用の場となっています。今後も市の産業の中心として維持していくためにも小見川工業団地を産業拠点としました。ただ、これまで土地利用が進まなかった用地をそのままにしておくわけにもということで、別の用途で使うことになりましたが、今後はご意見にあった農業、食品加工関係を含めた産業が集積できればと考えています。また、他にも農業関係のビジネスの集積を図る場所としては、都市活性化拠点とした佐原香取 I C 周辺、大関地区が考えられます。小見川区に阿玉台地区がありますが、ここは起伏が厳しく産業系の土地利用は難しいことから交流系としています。この他にも、山田区で一定のまとまった用地を利用した産業振興をというご意見がありました。これらの用地を利用して産業振興を図るには、地場産業だけでは難しく、また、若い人の定住を図るためにも、雇用の場となる工業などの産業系も必要と考えています。このような状況を踏まえ、都市計画マスタープランで方向性を整理しています。</p>
市民	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口ですが、68,000 人でいくか、80,000 人を維持していくか。80,000 人は難しいと思いますが、もう少し緩やかにしていくという考え方もあると思うのですが、如何でしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口 68,000 人ですが、決定したわけではありません。これから検討していく地域別構想を踏まえ、再度、検討していくことを予定しています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口ですが、一番の問題は子供の数が減少しているということだと思います。若い層を増やしていくにはどうするか、それとともに、これから高齢者が増加するので、その対策も必要になると思う。都市計画と離れた話になるが、そこが大きな問題だと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおりで、これまで都市計画は土地利用や道路、公園等のハードが主体でした。ただ、ひらがなの「まちづくり」では、ハードだけではなくソフト面も考慮し、持続可能な都市としていくことが必要と考えています。上位計画である香取市総合計画でも、重要プロジェクトの一つとして子育てのまち創造プロジェクトを位置づけて取り組んでいます。また、高齢者についても高齢者が自立して生活できるよう考えていくことが必要です。このような状況を踏まえ、この都市計画マスタープランでは、都市計画の守備範囲を超えることとなりますが、地域医療や子育てについても方針を整理しています。 人口の減少については、少しでも減少を緩やかにしていくため、若い人が香取市で働けるように雇用の場を確保していくという面での産業振興、また、農業が自立した産業となるようにすること、畑作は良いのですが、水田、米づくりをどうしていくかが問題かと思いますが、このようなことも考慮して、検討を進めていくことが大事だと考えています。 では、分野別方針の説明を行い、その後で、今回説明した内容について意見交換をさせていただきます。

	◆都市計画マスタープラン 分野別方針等に関する質疑応答
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・20年後の計画ということですが、5年、10年後もわかればと感じました。また、昔、佐原の工業団地の話があったと思いますが、それがどうなったのか教えていただきたい。 ・住民にとっては今の問題も重要であり、小見川総合病院が5年後にもあるのかをふれておいてくれればありがたいと思いました。 ・観光ですが、小見川は順天堂大学創始者の佐藤先生生誕の地であり、その辺も観光として活かして欲しいと思う。 ・小見川コミュニティセンターの建替についてですが、先週、説明会がありました。その中で、施設名称について、やりとりがありました。そこでは、意見を聞いて検討しますとのことでしたが、市長が来ていただければ話が早いのかと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・小見川総合病院については、配付資料に方針を示しています。都市計画マスタープランで、ご意見にある存続まで書き込む事は難しいのが現状で、これ以上は担当部署にご意見を伝えますとしか言えないのが現状です。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・そのあたりは理解しています。地域住民は存続を願っているということをお伝えしてもらえればと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・5年、10年後のというお話がありましたが、この都市計画マスタープラン策定後に、財政の面も含めて、年次計画として実施計画等で検討していくこととなります。 ・佐原工業団地については、千葉県で検討していたのですが、県も財政的に厳しく、中断している状況で、県と市で土地利用について協議している状況です。市としては、都市活性化拠点として都市を活性化する土地利用としていきたいと考えています。 ・佐藤先生の生誕地については初代松本幸四郎のお墓も含め、新たな観光ルートを検討していく方針を整理しています。 ・コミュニティセンターの建替ですが、平成21年度に基本設計、平成22年度に実施設計という予定と聞いています。名称については、今後検討していくのではと思います。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・決まってからではなく、決まる前に説明をお願いします。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターの件ですが、先日の説明会の時に500シートでは規模が小さい、少なくとも800シート以上にして欲しいと伝えている。事務局で受け止めてということであったが、それがどう反映させるのか教えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見については担当部署に伝えて、しっかり対応するように伝えておきます。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会の委員ですが、策定委員会でも人口については意見があった。また大規模工場の撤退についてですが、税収面でも影響は大きいと思う。市がどのような対策をしたのか、また、跡地の考え方について聞かせて欲しい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 定住人口の減少に、市がどう対応していくのかは気になることだと思います。行政としても食い止めたいということで、地域の得意分野、要するに農業ということになります。そういうもので何とかしていきたいと考えています。これまでは、企業を誘致し、そこが雇用の場となっていました。しかし、首都圏から 70km 圏内にある香取市で大規模工場が撤退する、旧佐原市では工業団地整備が進まなかったという現状があります。その反省点を含め、対応していくことが必要と考えています。世界経済状況がどう変化するかわかりませんが、製造業も今後、海外だけではなく国内にもどってくることも考えられます。そのようなものに対応し、受け皿となる場所は確保していくことが必要です。また、既存の農業と連携した産業の導入を図っていくことも必要です。これまでも対策は行っていますが、その成果がなかなか出ていないのが現状です。ただし、今後の予測は困難なことです。努力していかないと何も変わらないと考えています。
市民	<ul style="list-style-type: none"> そうは言っても、総花的になると何も出来ないのではないかと。焦点を絞った政策が必要ではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランは、20 年先のビジョンに基づく長期計画です。2、3 年先の政策を検討するのではなく、20 年後の将来像を計画として整理し、それをもとに、どのような政策をとっていくかを市民の皆さんと決めていくことが必要です。都市計画マスタープランは長期計画であり、ご指摘された総花的な計画にならざるを得ないことについてはご理解を願います。 また、大規模工場への対応等の具体的なことについては、建設セクションで対応しているわけではありません。商工観光課にあるにぎわいのまち推進室で対応しています。存続や跡地をどうするかはそこで検討していると思います。撤退は、年間 2 億円の減少で、更に定住人口や従業員人口の減少、産業の衰退と市への影響は大きく、様々な検討を行っていると思います。また、都市計画マスタープランの策定過程で頂いたご意見は、都市計画マスタープランに関係が無くても、担当部署等に伝えていきます。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 香取市は広大な都市であり、そのような都市の中で情報インフラを考えていくことが必要だと思う。例えば、観光交流拠点の連携とあるが、情報インフラを利用して結んでいくことも有効と考えます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ご意見の通り、情報インフラは重要なことで、光ファイバーが無いと企業誘致ができなかったとも聞いています。今、総務課で検討していると聞いています。扱いについては検討したいと思います。
	(2) 都市計画について説明
市民	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物についてですが、香取市になる以前に 1 市 3 町で、産業廃棄物最終処分場反対があったと思うのですが、それとの兼ね合いはどうなっているのか。香取市としても反対ということではないのか。そうであれば条例等で定めるとか、都市計画マスタープランに入れ込むべきでは

	ないか。
事務局	・検討させていただきます。
市民	・コミュニティセンターの建替は新市建設計画に盛り込まれ、平成 21 年頃には具体化している予定であったと思う。また、規模の件ですが、老朽化したため建て替えることになっており、現状を基準とすることが妥当だと思うのですが。
事務局	・担当部署で施設設計をどう考えているかということになりますが、一つは合併し、香取市として各施設をどう利用するかということになると思います。合併により、これまで旧市町、個々で必要であった施設が、効率的に整備され、利用される。このような効果があることから、国としても合併特例債といった支援をしていると思います。
市民	・新市建設計画に位置づけられていることは小見川区で計画したということではないか。また、既存施設の建て替えであれば、現状を基本に計画すべきと考えます。
事務局	・新市建設計画を踏まえ、総合計画が策定され、市の最上位の計画となっています。また、詳細な計画については、検討を行っている担当部署の考え方等もあるので、先程の名称の件と合わせ伝えておきます。
市民	・都市拠点としているが、コミュニティセンターについては記載されていませんが。
事務局	・これは全体構想であり、行政機能の充実と表記しており、コミュニティセンター等については地域別構想で整理します。
市民	・住民の関心は、安全、安心であり、特に小見川総合病院については関心が高い。そのことを踏まえ検討を進めて欲しい。
事務局	・わかりました。他に、ご意見はありませんでしょうか。 ・それでは、本日は長時間に渡り、ありがとうございました。今日いただいたご意見については、この計画に反映できるか検討いたします。反映が難しい場合でも担当部署に報告いたします。この懇談会は今後も開催を予定しています。11 月末頃だと思いますが、次回も是非宜しく願いいたします。それでは、閉会とさせていただきます。

